



# 会 報

第 12 号

東北大学教育学部  
同窓会仙台支部

## 平成二十年度の 同窓会の活動について

教育学研究科長・教育学部長 細 川 徹

会員の皆さま、お元気でお過ごしでしょうか。会報に書かせていただくのは、これが二度目となります。今回は標記のようなテーマでご報告することになりました。

昨年は東北大学創立百周年ということがあって、同窓会活動も活発に行われましたが、今年はひと休みの感があります。とは言え、これまでに二つの動きがありました。

一つは、仙台支部顧問でもある藤井黎・前仙台市長さんに同窓会全体の顧問に就いていただいたことです。また、藤井先生は今春、旭日中綬章受章の栄に浴されました。七月には仙台市をあげての祝賀会が開催されました。皆さんとともに、先生の栄誉とご健勝をお慶びしたいと存じます。

二つ目は、いよいよ同窓会名簿の改訂作業に着手したことです。まずは、ここ数年の卒業生から始めて、いずれ昭和四十年頃まで遡っていきたいと思います。これまで何度か試みては挫折してきたことに鑑み、今回は専任の方をお願いし、時間をかけて丹念に作業を進めていくつもりです。会員の皆さまにもご協力を仰ぐことがあろうかと存じますが、その節はよろしくお願いいたします。

名簿改訂と並行して、会員の再組織化を図りたいと思っておりますが、これには具体的な手だてはまだなく、皆さまのお知恵を拝借できれば幸いです。

す。大変困難なことが予想されますが、少しでも実を結ぶことができれば、やがて大きな花を咲かせることも夢ではないと思っております。昨年、京都の若い卒業生から関西支部立ち上げへの支援を要請されましたが、名簿がないこともあって、その後の進捗状況ははかばかしくないようです。重要なのは、そうした一つ一つのきっかけを大切にしていくことで、名簿作成に着手したことも、この件に背中を押された面があります。

同窓会がアクティブに動き出すには、まだ時間がかかりそうですが、急がば回れで、本年度は地味な作業に徹しようと思っております。

### 平成20年度 総会のご案内

平成20年度の東北大学教育学部同窓会仙台支部の総会を下記のとおり行います。皆様お誘い合わせの上、ふるってご参加ください。

記

1. 日 時 平成20年9月20日(土) 午後1時
2. 会 場 ホテルコムズ 仙台  
(旧三井アーバンホテル仙台)
3. 内 容 ①総 会  
②記念講演 講師 菊池武剋教授  
③懇 談 会

## 「今思っていること」

支部長 岡崎 忠 (36年入学)

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のことと拝察申し上げます。

この度、関口隆先生の後任として支部長に就任致すことになりました。前支部長同様によりしくお願い申し上げます。

さて、支部を構成する会員の数につきましては、昭和41年以降学校教育学科が廃止され、以前の同窓生の殆どが定年を過ぎて第一線の学校現場から離れており、以後の卒業生も県内に留まる人数は決して多くはなく、更に個人情報保護条例の施行により住所等の確認が著しく困難になってきております。高齢化とも相俟って会員数は漸減傾向にあり憂慮しているところであります。特に若年層の全員確保に努めて、支部組織を確実なものとし、その活動の活発化を図って参りたいと思っております。

このところ、教育基本法の改正をはじめとして、教育に関する問題が国会でも多く採りあげられており、社会の関心が極めて高くなってきております。日本の或いは地域の伝統・文化を次世代に伝えるという崇高な「教育」という仕事に携っている者または携ってきた同窓生が共に力を合わせて教育のよりよい方向性を探り、よりよい教育環境の整備に少しでもその実現に加担できたら・・・と思っております。

来たる平成21年は、本支部創設30年の節目の年に当たっておりますので、記念となる事業を計画したいと考えておりますが、皆様のご意見を沢山寄せていただければ幸甚に存じます。

とまれ、本支部の目的である「会員相互の親睦」と教育学部同窓会との「連絡連携を緊密」化を推進してゆきたいと思っております。

今後の支部活動に当たりましては、一層のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 同窓会活動二十年

教育学部同窓会理事(教育学研究科教授)

笹田 博通 (48年入学)

1988(昭和63)年に東北大学全学同窓会役員、教育学部同窓会仙台支部役員(大学関係理事)を仰せつかって以来、およそ二十年の間、同窓会関係の活動に従事して参りました。1999(平成11)年、教育学部創立五十周年を機に「教育学部同窓会」が正式に(?)発足してからは、同理事として、同窓会の体制作りや種々の事業に参加させて戴いております。

この二十年間を振り返り、あらためて実感させられるのは、仙台支部、関東支部、北海道支部といった「支部」の存在の有難さでございます。各支部の方々のご理解とご協力なしには「教育学部同窓会」は日の目を見ることがなかった、といっても過言ではございません。とりわけ仙台支部の方々には、これまで、「東北大学後援会」設立時(1994年)にその発起人となって戴いたり、「東北大学百周年」(2007年)の記念行事への参加をお願いするなど、一方ならぬお世話になって参りました。

現在、「教育学部同窓会」が抱えている喫緊の課題のひとつは、いわゆる「分離」(1965年)以降の卒業生の情報をどう把握するか、ということでございます。本年6月より、同窓会専門の事務職員の方一名を雇用することで、情報収集に努めてはおりますが、いまだ前途芒洋の感を拭い去ることは出来ません。

その一方で、しかし、京都在住の或る若い卒業生から、「関西支部」を結成し、本部や他の支部との連携を図ってゆきたい、との便りも届いております。縦横の人間関係が変質・風化しつつあるなかで、これは私共を安心させ、鼓舞しうるひとつの動向を示していると言えるでしょう。皆様には、今後ともご指導ご健勝をお願い申し上げる次第でございます。

## 関東地区同窓会をお迎えして

顧問 永野 昌一 (28年入学)

関東地区同窓会では「学びの故郷仙台を訪ねる旅」を企画し、5月20日、笹川会長、今野事務局長など総勢14名の会員が仙台を訪れました。前日の大雨でJR常磐線にトラブルがあり、6時間も遅れて参加した方もありましたが、皆様方を心から歓迎いたしました。仙台支部からは岡崎支部長はじめ関口事務局長など5名が参加し、大学当局からは格別の温かいご配慮をいただきました。

牛タンで昼の腹ごしらえの後、大学を訪問し、教育学研究科長 細川 徹教授や笹田博通教授の歓迎の出迎えがあり、そして大学の現状説明などをいただきました。

すばらしく整備された川内キャンパスの説明に耳を傾け、研究棟 11階から見渡す仙台のまち、そして遠く遥かに太平洋も望まれる懐かしい景色には、当時とのあまりにも異なる変化に感慨無量のものがあったと思います。

その後、一路秋保温泉へ。ここでは日頃の喧騒から離れ、美酒を酌み交わしながら同窓会の今後について熱心に夜更けまで話し合いました。

翌日は晴天の下、穏やかな松島遊覧船巡り。こうして「仙台を訪ねる旅」をしめくくったが、大変すばらしい行事でありました。

前夜の話し合いでは次のような問題が取り上げられたことをご紹介します。

- 1 支部の活動は変化に欠ける  
(新鮮味に乏しい)。
- 2 事業の定型化からの脱出。
- 3 仙台にUターンした会員の仙台支部への移籍。
- 4 新入会員が少ない。
- 5 新卒者の情報(就職)が欲しい。
- 6 学部のホームページの活用について。
- 7 支部相互間の交流の活発化。

何れも重要なこととして意見が一致し、次回のミーティングを約して元気に帰京されました。

## 事務局を担当して

事務局長 関口 隆 (37年入学)

東北大学教育学部同窓会仙台支部が創設されて、まもなく30年を迎えようとしている。

昭和28年4月1日に東北大学教育学部同窓会会則が施行され、同54年6月3日に改正され、初めて「東北大学教育学部同窓会卒業生名簿」が刊行された。同日、仙台市民会館で行われた第1回東北大学教育学部同窓会仙台支部総会には、ホールを埋め尽くさんばかりの会員が参集した。

この会と名簿により各年度の同期会が次々と設立され、現在も毎年同期会を実施している年度、隔年実施している年度、また、毎年会報を発行して会員の情報を共有している年度等、開催の形態はさまざまだが、その年度会員の結束の強さと年度のまとまりのすばらしさを感じさせられる。

ところで、毎年実施の仙台支部総会の事務局は、誰が担当されていたのか、調べたが曖昧である。富塚事務局長時代は、ガリ版・カーボン紙、柘澤氏時代はワープロ、伊藤昭氏・大浪榮一氏時代になると職場での印刷等が完全にできなくなり、本人とそこご家族に多大なご負担をかけた時代である。伊藤・大浪両氏は、パソコンで名簿の管理と文書の作製・管理等、次の事務局のため尽力された。また、会計の佐藤勝子氏は、会費の振込先を集約され、事務の効率化に寄与されてきている。

また、先日の役員会の折、細川徹研究科長様から、教員養成課程終了後を重点とした会員名簿の作成を検討したいという心強いお考えを伺った。

ここ、10数年、各年代の研究科長様はじめ、委嘱した大学の理事の方々には役員会及び総会に参加いただき、仙台支部の現状を把握され、支部との関りを深めようと配慮されている。この温かさに感謝している。

このような関係が、40年度以降の会員の増加に結びつき、支部が発展することを期待している。

## 仙台支部役員名簿

(平成20. 7. 26～平成22. 11. 30)

顧問	藤井 黎	26佐々木一洋
"	教育学研究科長 細川 徹	
"	28永野 昌一	31雪江 美久
支部長	36岡崎 忠	
副支部長	36阿部 琢也	39軍司 啓
参事	与 24岩淵昌次郎	24富塚 英雄
"	24志村 元一	29石森 幸子
"	31柘澤 怜	32佐々木亀三男
"	33佐藤 健仁	35伊藤 昭
"	39大浪 榮一	
"	元科長 菅井 邦明	
"	" 菊池 武剋	
"	" 荒井 克弘	
理事	24川井 善夫	24丸谷慶二郎
"	25高橋 公正	25菊池 康雄
"	25静田 一	
"	26池田 和夫	26三橋 亮一
"	27佐藤 陽二	27青木 敏浩
"	28小關 幸生	
"	29青木 寛敏	29星 博
"	30小野 正義	30小畑 博之
"	31楨 要照	31今野 健
"	31菅原 教雄	
"	32久保田 明	32砂金 信男
"	33小高 幸子	33金岡 昭房
"	34伊藤 静男	34河野 好郎
"	35泉 豊	35岡本 幸子
"	36正木 競	
"	37菊田 泰丸	37小倉 英樹
"	38熊谷 洋	38櫻井 正幸
"	39渡邊 宣隆	39菊地 光輝
"	40安住 裕	48桜田 博
"	50別府 成裕	51日下 毅
"	52吉川 邦彦	51南城 一之
"	57川上 芳夫	H4吉植 庄栄
監事	25佐藤 寿郎	48宮腰 英一
大学関係理事	48大桃 敏行	52熊井 正之
理事事務局	37關口 隆	52吉川 邦彦
"	50別府 成裕	

会 計 33齋藤 良子 37佐藤 勝子  
" 39朴沢 徳昭

## 事務局だより

下記のように委員会を構成し、それぞれ活動を展開しております。

### 会則検討委員会

委員長 31柘澤 怜  
副委員長 31今野 健  
委員 25静田 一 34伊藤 静男  
37菊田 泰丸

### 名簿作成委員会

委員長 33金岡 昭房  
副委員長 35泉 豊  
委員 25高橋 公正 29青木 寛敏  
30小野 正義 31菅原 教雄  
38熊谷 洋

### 会報発行委員会

委員長 27青木 敏浩  
副委員長 32佐々木亀三男  
委員 25菊池 康雄 32久保田 明  
34河野 好郎

### 会計委員会

委員長 29石森 幸子  
副委員長 39朴沢 徳昭  
委員 33齋藤 良子 37佐藤 勝子

### <行事予定>

5月31日(土) 第1回役員会  
7月26日(土) 第2回役員会  
9月20日(土) 第29回仙台支部総会  
1月5日(火) 第3回役員会

◎会報12号をお届けいたします。ご多用の中、ご執筆いただきました皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 事務局(連絡先)

〒982-0807

仙台市太白区八木山南3-14-13

關口 隆 TEL 244-2091

※カットは柘澤 怜氏(31年入学)